

## ICT+オープンソースが お客様の夢を叶える アイバース合同会社

システムやプログラムを開発し、  
企業や個人の活動をサポートするベンチャー企業が、  
創業支援室から一歩を踏み出した。

### 「不可能」を「可能」にする時が来た

「インターネットの出現は、もはや“できないことは無い”といえるほど、小規模開発の可能性を無限大のものにした。今まで不可能だったことも可能になる時代」と言葉に熱を込めるアイバース合同会社の相馬大志(そうま ひろし)代表。同社は、今年2月に創業し、県庁第二庁舎3階の創業支援室に事務所を構えた。

同社の業務は、インターネットをベースにしたシステム開発により、お客様の「あったらいいな!」をカタチにすること。例えば、現在「籾殻ボイラー」の普及に尽力する農業コンサルティング(株)秋田農販とタッグを組み、ビニールハウス内の温度やCO2濃度などのモニタリング、制御システムの開発プロジェクトを進めている。生育環境を管理することにより、高付加価値作物の栽培につなげ商品のブランド化を進める考えだ。

### 社会の不便を変えたい

「『ビニールハウスの管理システムを低価格で実現できないか』との声に『だったらやろう』と始めたのが今のプロジェクト。当初は既存の大規模事業者向けシステムの導入を検討していたが価格がネックとなっていた。この問題に対し、『オープンソースハードウェア』といわれる、汎用性の高い低価格なマイコン基板とクラウドの利用を提案。低コストで誰もが手にとれる商品化に道筋をつけた。いろいろな『あったらいいな!』を気軽に叶えられる時代になった」と相馬代表。

システムの導入で、労働力や人件費の削減、一年を通して安定した収穫が見込める農業の実現など、さま

創業や新事業分野進出を目指す意欲的な企業等に、事務スペースを提供します。インキュベーション・マネージャー等への日常的な経営相談が可能です。

#### 【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/  
総合相談担当(018-860-5610)まで。



「今はまだ創業したばかりだが、これから実績を重ねて、インターネットに繋がることでいろんな可能性を証明していきたい」と相馬代表。「農業分野、福祉分野など、さまざま挑戦したい」と話す。

ざまなメリットが考えられる。便利な技術の早期提供に意欲を見せている。

### ベンチャー企業の強みを生かす

「小さいころから3度の飯より機械が好き」と笑う相馬代表。子供時代から電子工作、コンピューター技術に夢中だった。こうした趣味を通して機械1つで人の暮らしは劇的に便利になることに感激し、ICTの仕事を目指した。「ベンチャー企業ならではの立場を生かして、小さなニーズに積極的に応えることで、大きなチャンスを創造していきたい」と熱い思いを持つ。

創業支援室に入居したことで、隣室のベンチャー企業から仕事の依頼を受けたり、互いに情報を交換したり、良い刺激も受けている。「ビジネスの相談事があればすぐ下のフロアの活性化センターがバックアップをしてくれる。創業支援室はベンチャーにとって快適な環境」と話す。アイバースの挑戦はまだ始まったばかり。これからたくさんの企業、人の夢を叶えていく。

## アイバース合同会社

〒010-0951  
秋田県秋田市山王三丁目1-1  
県庁第二庁舎3階 A-1  
Tel.018-827-7120  
Fax.018-827-7121  
<http://www.aibirds.jp>



「情報だけではなく、必要な部品も地球の裏側まで探しに行けるのがネット時代の強み」と相馬代表。



創業支援室は、カードキーで24時間365日いつでも出入り可能で地理的利便性も高い。



オープンソースハードウェアをベースにした試作品。各種センサーの情報は、クラウド上に送信され、WEBや電話でモニタリング、制御を行う仕組み。